

令和7年度 学校法人 木村学園 大阪電子専門学校
学校関係者評価委員会
議事録

開催日時 令和8年3月6日（金）14:00～15:00
開催場所 大阪電子専門学校 3階コワーキングスペース

出席者

〔企業関係者・有識者の委員〕

佐々木 啓	久米電気株式会社
三上 典秀	一般社団法人i-RooBO Network Forum
岩本 浩一	株式会社キンコー
高松 光示	中央電設株式会社
渡邊 隆行	株式会社セイコー
河原 吉伸	大阪大学大学院教授

〔弊学園教職員〕

木村 誠	学校長
浅野 勇介	電子工学科科長代理
上田 良和	電気設備科科長
中本 智	情報エンジニア科科長
河村 雅章	就職担当
山口 鉄次	教育改善ユニット
田上 英人	教育改善ユニット

次第

1. 学校長 ご挨拶
2. 自己評価表報告と審議

【議事録】

1. 自己評価表報告と審議

『職業実践専門課程自己評価判断基準に基づく評価2025年度実施分』に基づき、自己評価結果について報告。

2. 学校関係者評価委員からの意見聴取

（企業関係者・有識者、以下、有）学生だけでなく、教職員のメンタル面も考慮した評価になっているのでしょうか。

⇒（弊校教職員、以下、弊）その通りです。

⇒（有）特定の教職員に業務が偏ることのないようにすることが大事だと思います。

⇒（弊）承知いたしました。

（有）点検項目『地域の方を対象とした公開講座を実施した。』が2になっている点について、社会人向けにAIの勉強会を実施しておりますので、その会場として御校の部屋を利用させていただければ、地域貢献にも繋がると考えます。

⇒（弊）弊校の場所をご利用いただくことは可能ですので、また別途相談させていただきたいと思います。

（有）電気設備科でキャリアデザイン実習を導入するとのことですが、具体的にはどのような内容でしょうか。

⇒（弊）これまで2年生向けにパソコン実習の授業がありましたが、パソコンに限らずビジネスマナー等についても教育し、学生により興味をもてるような授業にする予定です。

⇒（有）学生には、自分の10年、20年後を見据えて、どのようにキャリアを築いていくのか考えさせるような授業にできればなお良いと思います。また、出前授業として、企業が御校に出向き、実際の仕事内容を説明する機会があっても良いと思います。

⇒（弊）いただいた点も含めて授業内容を考えていきたいと思っています。

（有）社会人においては、1，2年で急にやめるケースがあり、相談してもらえる環境をうまく作れていないと感じております。学生が教職員に相談しやすい環境を構築するためにやっていることはありますでしょうか。

⇒（弊）学生とは、口頭、メール等で積極的にコミュニケーションをとっております。その結果、当初は欠席連絡を行わなかった学生が、しっかりと連絡してくれるようになりました。学生には、報連相の大切さを事あるごとに伝えるようにしております。

⇒（有）今後、外国人が益々増加することが予想されますが、御校として、留学生を今後増やしていく方針なのでしょうか。

⇒（弊）はい、今後、留学生は積極的に受け入れていく予定です。

（有）教職員間で情報共有を効率的に行うことがコンプライアンス上重要であると思います。円滑なコミュニケーションをとるためのシステムを導入されていると思いますので、積極的に活用するのが良いと思います。また、留学生が増加しているとのことですが、それだけに問題が発生するリスクも高くなっているように思います。その際、速やかに身元確認を行うための対策はされているのでしょうか。

⇒（弊）出願時に身元保証人、経費支弁者の情報を提出させるようにしており、弊社から連絡して確認する等、問題が発生しても円滑にフォローできるような連絡体制を整備しております。

【総評】

本年度の自己評価は概ね適切であるが、評価の低い「地域・社会貢献」については、外部委員の知見・ネットワークを積極的に取り入れることで、次年度には「評価4」へ引き上げることを目標とする。